

教理問答

Doctrinal Catechism

幼い子供のための問答

Catechism for Young Children

ウェストミンスター小教理問答への入門

An Introduction to the Westminster Shorter Catechism

原作者不明

Original author unknown

牧師 J. J. リム 編集、補足

Edited and enlarged by Ps J.J. Lim

麻希・ヴァンダホフ 訳

Translated by Maki Vanderhoff

シュオン・キム、魚本つる子 校閲

Proofread by Jooun Kim and Tsuruko Uomoto

教理問答

Doctrinal Catechism

幼い子供のための問答

Catechism for Young Children

ウェストミンスター小教理問答への入門

An Introduction to

The Westminster Shorter Catechism

作者不明

Original author unknown

牧師 J. J. リム 編集、補足

Edited and enlarged by Ps J.J. Lim

デイヴィッド・ヒッグズ牧師より有益な貢献をいただく

With helpful contributions by Ps. David Higgs

麻希・ヴァンダホフ 訳

Translated by Maki Vanderhoff

ジュオン・キム、魚本つる子 校閲

Proofread by Jooun Kim and Tsuruko Uomoto

2013年 編

**Catechism for Young Children -
An Introduction to the Westminster Shorter Catechism**

Original author unknown

Edited and enlarged by Ps. J. J. Lim;

With help contributions by Ps. David Higgs

© 2013 by Pilgrim Covenant Church

First published 2011

Second published 2013

Published by Gratia Dei Sola Media
Blk 203B, Henderson Road, #07-07, Singapore 159546
Website : www.gdsmedia.org
Email : gdsmedia.sg@gmail.com

All rights reserved Printed in Singapore

聖書 新改訳©2003 新日本聖書刊行会 許諾番号 3-2-667 号

はじめに

問答書を用いて教える所以は、使徒パウロのテモテへの「(キリスト・イエスにある信仰と愛をもって) わたし(パウロ)から聞いた健全なことばを手本にしてください」(第二テモテ 1 : 13) という命令に基づいています。

子供たちに問答を教えることを促進するため、PCC (Pilgrim Covenant Church) では、「聖書歴史問答」と「教理問答」のシリーズを採用しました。

「聖書歴史問答」では、聖書を通じて進んでいく贖いの歴史をたどるのに対して、「教理問答」では聖書のもっとも重要な教理を要約して、教義命題として並べてあります。

この教会では二つの問答書が子供たちを教えるために採用されてきました。つまり、「ウェストミンスター小教理問答」と「幼い子供のための教理問答」のことです。「幼い子供のための教理問答」は、「ウ小教理問答」を簡約化し、子供たちに紹介するために作り出されました。

わたしたちの目的は、最終的には子供たちが小教理問答を長期記憶脳に記憶することですが、「ウ小教理問答」が難しすぎて理解できない子供たちが、年齢に合った簡約なものから学ぶという中間の段階を通ることは、良いことだと判断しました。子供たちが(まだ理解できなくても)すでに「ウ小教理問答」を暗記することができると思う親御さんは、もちろん、簡約された教理問答を注釈として用いながら、「ウ小教理問答」を暗記させてください。

子供たちに神の契約を教える責任は、主に両親(特に父親)にある、ということを再度強調したいと思います。教理問答のクラスの先生たちは、大変短い時間のレッスンの後、一週間を通して教理問答を暗記してきた子供たちをテストします。ですから、毎回クラスの前に、子供たちに答えの説明をしてあげingことを、お父さんたちに強くお勧めします。

わたしたちの天のお父様が、これらの方法を通して、わたしたちの契約の子供たちを祝福してくださいますように。そして、御名の御栄光のために、御言葉の真実が子供たちの心に保たれ、代々受け継がれていきますように。

牧師 J. J. リム

第 1 課

生きておられる、まことの神さま — 1

1. だれがあなたを造りましたか。

神さまです。

2. 神さまはなぜあなたを造りましたか。

わたしたちが神さまの栄光をあらわし、神さまを永遠に喜ぶためです。

3. どうすれば神さまの栄光をあらわすことができますか。

神さまを愛し、神さまのご命令を守ることによってです。

4. なぜあなたは、神さまの栄光をあらわさなければならないのですか。

神さまがわたしを造り、わたしを守ってくださるからです。

5. お一人より、多くの神さまがおられますか。

ただお一人の神さまだけです。

6. 木や石で作られた偶像はどうなのですか。

それらは、偽の神々です。

7. 生きておられるまことの神さまにはいくつの人格がありますか。

三つの人格があります。

8. それらの人格はだれですか。

父と御子と聖霊です。

9. 神さまを愛し、神さまに従う方法を、何から学びますか。

ただ聖書のみからです。

10. だれが聖書を書きましたか。

聖霊に満たされた、聖なる人々が書きました。

暗唱聖句：「しかし、主はまことの神、 生ける神、とこしえの王。」

(エレミヤ書10：10a)

第 2 課

生きておられる、まことの神さま — 2

1 1. 神さまはどんな方ですか。

神さまは霊であり、無限、永遠の方で、変わることはない方です。

1 2. なぜ神さまが霊である、と言うのですか。

わたしたちのように、からだを持っておられないからです。

1 3. なぜ神さまは無限である、と言うのですか。

神さまにはどのようなことでも制限がないからです。

1 4. なぜ神さまは永遠である、と言うのですか。

神さまには、始まりも終わりもないからです。

1 5. なぜ神さまは変わることがない、と言うのですか。

神さまは完全でおられ、よりよくなるとか、より悪くなるということがなく、そのご意思を変えることがないからです。

1 6. 神さまはどこにおられますか。

どこにでもおられます。

1 7. 神さまを見ることはできますか。

いいえ、わたしには神さまを見ることはできませんが、神さまはいつでもわたしを見ることのおできになります。

18. 神さまはすべてのことを知っておられますか。

はい、神さまから隠れることの出来るものは何もありません。

19. 神さまにはすべてのことがおできになりますか。

はい、神さまは、その聖なるご意思に従って、すべてのことをおできになります。

暗唱聖句：「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」（ヨハネ4：24）

第 3 課

創造と摂理

20. 神さまの聖定とは何ですか。

神さまの聖定とは、永遠から定められたこの世界（宇宙）に対する神さまの計画です。

21. 永遠からとはいつのことでしたか。

この世界（宇宙）が存在する前のことでした。

22. 神さまはどのようにして、その聖定を実行されたのですか。

創造と摂理のみわざによってです。

23. 創造のみわざとは何ですか。

創造のみわざとは、神さまが、すべてのものを無から、六日の間に造られたことです。

24. 創造のはじめの状態はどんなでしたか。

とてもよかったです。

25. 神さまはなぜすべてのものを造られたのですか。

神さまご自身の栄光のためです。

26. 神さまの摂理のみわざとはなんですか。

神さまの摂理のみわざとは、神さまが宇宙で起こるすべての事を、起こしておられる、ということです。

27. 神さまはなぜ、すべてのことがこのように起こるようになさっているのですか。

神さまご自身の栄光と、神さまの選びの民の益のためにです。

28. 神さまの選びの民とはだれですか。

永遠から神さまが愛されている者たちです。

暗唱聖句： 「遠い大昔のことを思い出せ。

わたしが神である。ほかにはいない・・・。

わたしのような神はいない。

『わたしのはかりごとは成就し、

わたしの望む事をすべて成し遂げる。』と言う。」（イザヤ46：9－10）

第 4 課

人間と行いの契約

29. 神さまは、人間をどのようにお造りになられましたか。

神さまは、わたしたちの一番はじめの先祖を、ご自身のかたちに造られました。

30. わたしたちの一番はじめの先祖は、だれとだれでしたか。

アダムとエバです。

31. 神さまはわたしたちの一番はじめの先祖をどのように造られましたか。

神さまはアダムの体を土からお造りになり、アダムの体からエバを造られました。

32. 神さまはアダムとエバに、体のほかに何を与えられましたか。

神さまは、決して死ぬことのない魂を、お与えになりました。

33. あなたは、体と同じように魂を持っていますか。

はい、わたしは決して死ぬことのない魂を持っています。

34. あなたは魂を持っていることが、どうしてわかりますか。

聖書がそう教えているからです。

35. 神さまは、アダムとエバをどのような状態に造られましたか。

神さまは、アダムとエバを、きよく幸福にお造りになりました。

36. 契約とは何ですか。

二人、またはそれ以上の人と人との間の誓いによって結び付けられている友情の絆です。

37. 神さまは、アダムとどんな契約を結ばれましたか。

行いの契約です。

38. 神さまは行いの契約の中で、アダムにどうしなくてはならないと要求されましたか。

神さまに完全に従うことです。

39. 神さまは行いの契約で、何をお約束になりましたか。

アダムが神さまに従えば、アダムに命を与えられと神さまはお約束されました。

40. 神さまは行いの契約で、どのような注意をなさいましたか。

もしアダムが神さまに従わないならば、死をもって罰せられるということです。

暗唱聖句： 「神はこのように、人をご自身のかたちに創造された。神のかたちに彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。」 （創世記1：27）

第 5 課

人間の墮落

41. アダムは行いの契約を守りましたか。

いいえ、アダムは神さまに対して罪を犯しました。

42. 罪とは何ですか。

罪とは神さまの律法への一致に少しでも欠けること、あるいは神さまの律法にそむくことです。

43. 「律法への一致に欠ける」とは、どういうことですか。

神さまの求めておられる者にならないこと、神さまの求めておられることをしないことです。

44. 「律法にそむくと」は、どういうことですか。

神さまが禁じておられることを、することです。

45. わたしたちの最初の先祖の罪は、何でしたか。

禁じられていた木の実を食べたことです。

46. この罪に彼らを誘惑したのはだれですか。

悪魔がエバを誘惑し、エバがアダムに実を与えました。

47. わたしたちの最初の先祖が、罪を犯したとき、彼らに何が起こりましたか。

きよく幸福であるかわりに、罪深く、みじめになりました。

48. 行いの契約は、アダム一人のためのものでしたか。

いいえ、アダムは彼の子孫全体を代表していました。

49. アダムの子孫とはだれですか。

主イエスを除く、アダムから出たすべての男、女、子供たちのことです。

50. アダムの罪はすべての人間にどんな影響を及ぼしましたか。

すべての人間が、罪深く、みじめな状態で生まれてくることになりました。

暗唱聖句：「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく。」

(創世記3：15)

第 6 課

原 罪

51. わたしたちが、アダムから受けつぐ罪深い性質を何といいますか。

原罪といいます。

52. 原罪には何が含まれていますか。

アダムのはじめの罪にあって有罪であることと、罪深い性質です。

53. アダムにあって有罪であるとは、どういうことですか。

アダムのゆえに、神さまの目には罪人である、ということです。

54. 罪深い性質にあるとは、どういうことですか。

わたしの心の状態が罪人であって、わたしのするすべてにおいて罪をおかしている、ということです。

55. すべての罪はどのような報いを受けますか。

神さまの怒りとのおろいを受けます。

56. この罪深い性質のまま天国へ行くことができますか。

いいえ、天国にふさわしいものとされる前に、わたしたちの心が変わられなければなりません。

57. 心が変わることを何といいますか。

再生といいます。

58. 罪人の心を変えることのできるのはだれですか。

聖霊だけです。

59. 行いの契約によって救われる人はありますか。

だれ一人、行いの契約によっては救われません。

60. なぜ、だれ一人、行ないの契約によっては救われないのですか。

なぜなら、わたしたちすべての人が行いの契約を破っており、そのために罪と定められているからです。

暗唱聖句： 「あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、・・・ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。」

(エペソ2：1、3b)

第 7 課

恵みの契約 — 1

61. 父なる神さまは、だれと恵みの契約を結ばれましたか。

神さまの永遠の御子キリストです。

62. キリストは、恵みの契約でだれの代表となられましたか。

キリストの選びの民です。

63. キリストは恵みの契約で何をお引き受けになりましたか。

ご自分の民のために、律法をすべて守ることと、その民の罪のための罰を受けることです。

64. わたしたちの主イエス・キリストは、罪に誘惑されるということが、どういうことかをご存知でしたか。

はい。わたしたちの主イエス・キリストは、すべてにおいてわたしたちと同じように誘惑にあわれました。

65. わたしたちの主イエス・キリストは、少しでも罪を犯されましたか。

いいえ、わたしたちの主イエス・キリストは、きよく、罪なく、汚れのない方でした。

66. どのようにして、神さまの御子が苦しみを受けることができたのですか。

神さまの御子キリストは、わたしたち人間と同じからだで、神さまに従い、苦しみを受けるために人となりました。

67. あがないとはどんなことですか。

キリストが罪人のかわりに、苦しみを受け、死ぬことによって、神さまの正義を満足させることです。

暗唱聖句： 「しかし定めの時が来たので、神はご自分の御子を遣わし、この方を、女から生まれた者、また律法の下にある者となさいました。これは律法の下にある者を贖い出すため、その結果、私たちが子としての身分を受けようになるためです。」 （ガラテヤ4：4-5）

第 8 課

恵みの契約 — 2

68. 父なる神さまは、恵みの契約で何をお引き受けになりましたか。

キリストが身代わりとなって死なれた人たちを、義と認め、ご自分の子とされ、聖化されることです。

69. 義認とは、どんなことですか。

神さまが罪人をお赦しになり、一度も罪を犯したことがなかったようにあつかわれることです。

70. 聖化とは、どんなことですか。

神さまが罪人を、心と行いにおいて、きよく変えて下さることです。

71. ご自分の子とされる、とはどんなことですか。

神さまがわたしたちをご自分の家族のうちに受け入れられ、ご自分の子としてくださることです。

72. だれのために、キリストは従い、苦しまれたのですか。

父なる神さまが、キリストに与えられた、選びの民のためです。

73. キリストは、この世でどのような生活を送られましたか。

貧しさと、苦しみの生活でした。

74. キリストはどのような死にかたをされましたか。

苦しく、はずかしい、十字架の死でした。

暗唱聖句： 「わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています。それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同様です。また、わたしは羊のためにわたしのいのちを捨てます。」 (ヨハネ10：14－15)

第 9 課

悔い改めと信仰について

75. だれが救われるのでしょうか。

ただ神に選ばれた者たちだけです。

76. どのようにして、あなたは神に選ばれた者であると知ることができますか。

わたしは罪を悔い改め、キリストを信じ、きよい生活を送ります。

77. 悔い改めるとはどんなことですか。

罪は神さまに嫌われていますから、罪を悲しみ、憎み、そして捨て去ることです。

78. キリストを信じる、またはキリストに信仰を置く、とはどんなことですか。

救われるために、ただキリストにより頼むことです。

79. 救われるとはどんなことですか。

罪の力から解放され、永遠の命を持つことです。

80. 永遠の命を持つとはどんなことですか。

今日も、そして永遠に、キリストにあって神さまを知り、神さまを喜ぶことです。

81. あなたは自分の力で、悔い改めをして、キリストを信じることができますか？

いいえ、神さまの聖霊の力がなくては、どのような良いこともできません。

82. どうすれば聖霊の力をいただくことができますか。

神さまに、聖霊をいただくために祈らなくてはなりません。

83. キリストが死なれたのは、どれくらい前のことですか。

約2000年前です。

84. キリストが来られる前の、信仰深い人たちは、どのようにして救われましたか。

やがて来てくださる救い主を信じて救われました。

85. その人たちは、自分たちの信仰をどのようにあらわしましたか。

神さまの祭壇に、いけにえをささげることによってです。

86. そのようないけにえは、何をあらわしましたか。

罪人のために死なれる神の子羊、キリストをあらわしました。

暗唱聖句： 「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行ないによるものではありません。だれも誇ることのないためです。」（エペソ2：8－9）

第 10 課

キリストの三つの務め(職務)

87. キリストは、いくつの務めを持っておられますか。

キリストは三つの務めを持っておられます。

88. 何と何と何ですか。

預言者・祭司・王の務めです。

89. キリストはどのような面で預言者なのですか。

キリストは、わたしたちに神さまのみこころを教えてくださいます。

90. キリストはどのような面で祭司なのですか。

キリストは、わたしたちの罪のために死なれ、わたしたちのために神さまにとりなしをしてくださいます。

91. キリストはどのような面で王なのですか。

キリストは、わたしたちを治め、わたしたちを守ってくださいます。

92. どうして、あなたは預言者としてのキリストが必要ですか。

わたしは何もわからないからです。

93. どうして、あなたは祭司としてのキリストが必要ですか。

わたしには罪があるからです。

94. どうして、あなたは王としてのキリストが必要ですか。

わたしは弱く、無力だからです。

暗唱聖句： 「神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。」（第一テモテ2：5）

第 11 課

十 戒

95. 神さまはシナイ山でいくつの戒めをお与えになりましたか。

十の戒めです。

96. 十の戒めは時に何と呼ばれますか。

十戒と呼ばれます。

97. はじめの四つの戒めは、何を教えていますか。

わたしたちの、神さまへの義務です。

98. 次の六つの戒めは、何を教えていますか。

わたしたちの、隣人への義務です。

99. 十の戒めはひとことでまとめると、何ですか。

心を尽くして神さまを愛し、自分と同じように隣人を愛することです。

100. あなたの隣人とはだれですか。

わたしが親切にすることのできる人はだれでも、わたしの隣人です。

101. 神さまは、神さまを愛し、神さまに従う人たちを、お喜びになりますか。

はい、神さまは、「わたしを愛する者をわたしは愛する（箴言8：17）」と言っておられます。

102. 神さまは、神さまを愛さず、神さまに従わない人たちを、おきらいになりますか。

はい、「神は日々悪者に怒られます。」（詩篇7：11）（新欽定訳より和訳）

暗唱聖句： 「そこで、イエスは彼に言われた。『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』これがたいせつな第一の戒めです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。」（マタイ22：37-39）

第 12 課

第一から第三の戒め

103. 第一の戒めは何ですか。

第一の戒めは、「あなたはわたしのほかに、何ものをも神としてはならない」です。

104. 第一の戒めは、わたしたちに何を教えていますか。

神さまだけを礼拝することです。

105. 第二の戒めは何ですか。

第二の戒めは「あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、どんな形をも造ってはならない。それらを拜んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神、わたしを憎む者には、父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、恵みを千代にまで施すからである。」です。

106. 第二の戒めは、わたしたちに何を教えていますか。

神さまが指定された方法のみで神さまを礼拝することです。

107. 第三の戒めは何ですか。

第三の戒めは「あなたは、あなたの神、主の御名を、みだりに唱えてはならない。主は、御名をみだりに唱える者を、罰せずにはおかない。」です。

108. 第三の戒めは、わたしたちに何を教えていますか。

神さまの御名と、御言葉と、御わざをおそれ敬うことです。

暗唱聖句： 「主のみおしえは完全で、たましいを生き返らせ、主のあかしは確かで、

わきまえのない者を賢くする。」 （詩篇19：7）

第 13 課

第四の戒め

109. 第四の戒めは何ですか。

第四の戒めは「安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。六日間、働いて、あなたのすべての仕事をしなければならない。しかし七日目は、あなたの神、主の安息である。あなたはどんな仕事もしてはならない。——あなたも、あなたの息子、娘、それにあなたの男奴隷や女奴隷、家畜、また、あなたの町囲みの中にいる在留異国人も——それは主が六日のうちに、天と地と海、またそれらの中にいるすべてのものを造り、七日目に休まれたからである。それゆえ、主は安息日を祝福し、これを聖なるものと宣言された。」です。

110. 第四の戒めは、わたしたちに何を教えていますか。

安息日をきよく守ることです。

111. 一週間のどの日が、キリスト教の安息日ですか。

主の日と呼ばれる一週間の最初の日です。

112. なぜ、その日を主の日と呼びますか。

その日に、キリストが死人の中からよみがえられたからです。

113. 安息日は、どのように過ごしたらよいでしょうか。

祈りと讃美をささげ、神さまの御言葉を聞き、また読み、ほかの人々のために良いことをして過ごします。

暗唱聖句： 「したがって、安息日の休みは、神の民のためにまだ残っているのです。

(ヘブル4：9)

第 14 課

第五から第七の戒め

114. 第五の戒めは何ですか。

第五の戒めは、「あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えようとしておられる地で、あなたの齢が長くなるためである。」です。

115. 第五の戒めは何を教えてくださいか。

わたしたちの両親や先生たちを愛し、従うことです。

116. 第六の戒めは何ですか。

第六の戒めは、「殺してはならない」です。

117. 第六の戒めは、何を教えてくださいか。

思いと言葉と行いにおいて平和を保ち、愛を持つこと、また、怒りを避けることです。

118. 第七の戒めは何ですか。

第七の戒めは、「姦淫してはならない」です。

119. 第七の戒めは、何を教えてくださいか。

心と言葉と行いにおいて、清くあることです。

120. 第八の戒めは何ですか。

第八の戒めは、「盗んではならない」です。

121. 第八の戒めは、何を教えていますか。

正直であり、よく働くことです。

暗唱聖句：「子供たちよ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。」

(エペソ6：1)

第 15 課

第九から第十の戒め

122. 第九の戒めは何ですか。

第九の戒めは「あなたの隣人に対し、偽りの証言をしてはならない」です。

123. 第九の戒めは、何を教えていますか。

真実を言うこと、そして、決して嘘は言わないことです。

124. 第十の戒めは何ですか。

第十の戒めは、「あなたの隣人の家を欲しがってはならない。すなわち隣人の妻、あるいは、その男奴隷、女奴隷、牛、ろば、すべてあなたの隣人のものを、欲しがってはならない。」です。

125. 第十の戒めは、何を教えていますか。

自分の生活に満足していることです。

126. これらの十の戒めを、完全に守ることのできる人があるでしょうか。

アダムが墮落してからは、だれ一人十の戒めを完全に守った者はおらず、また完全に守ることのできる人はいません。

127. 十の戒めは、わたしたちにとって、どのような役目を果たしているのですか。

十の戒めは、わたしたちの義務を教え、またわたしたちに救い主が必要であることを示しています。

128. わたしたちはどのように十の戒めを守らなくてはなりませんか。

主イエスへの愛と感謝の心から、十の戒めに従わなくてはなりません。

暗唱聖句：「結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。」（伝道者の書12：13）

第 16 課

主の祈り

129. 祈りとは何ですか。

祈りとは、神さまが与えると約束してくださったものを、神さまに求めることです。

130. わたしたちは、だれのお名前によって祈らなければなりませんか。

キリストの御名によってのみ祈ります。

131. わたしたちに祈り方を教えるために、キリストは何を与えてくださいましたか。

主の祈りです。

132. 主の祈りを言ってごらん下さい。

天にまします我らの父よ、願わくは御名を崇めさせたまえ。

御国を来たらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を今日も与えたまえ。

我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みに合わせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは、限りなく汝のものなればなり。アーメン。

133. 主の祈りの中には、いくつの願いがありますか。

六つあります。

暗唱聖句：「求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。

たたきなさい。そうすれば開かれます。」（マタイ7：7）

第 17 課

第一から第三の願い

134. 第一の願いは何ですか。

「御名を崇めさせたまえ」です。

135. 第一の願いでは、何を求めて祈りますか。

神さまの御名が、わたしたちやすべての人によって敬われるように、と祈ります。

136. 第二の願いは何ですか。

「御国を来たさせたまえ」です。

137. 第二の願いでは、何を求めて祈りますか。

福音が全世界でのべ伝えられ、わたしたちや他の人たちがみな、それを信じて従うように、と祈ります。

138. 第三の願いは何ですか。

「御心の天になるごとく地にもなさせたまえ」です。

139. 第三の願いでは、何を求めて祈りますか。

天で御使いがしているように、地上の人たちも神さまに仕えるように、と祈ります。

暗唱聖句：「私たちの主、主よ。あなたの御名は全地にわたり、なんと力強いことでしょう。あなたのご威光を天に置かれました。」（詩篇8：1）

第 18 課

第四から第六の願い

140. 第四の願いは何ですか。

「我らの日用の糧を、今日も与えたまえ」です。

141. 第四の願いでは、何を求めて祈りますか。

神さまが、わたしたちの身体と魂に必要な物を、みなくださるように、と祈ります。

142. 第五の願いは何ですか。

「我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ」です。

143. 第五の願いでは、何を求めて祈りますか。

神さまが、キリストによって、わたしたちの罪を赦してくださるように、またわたしたちに悪いことをした人を、わたしたちも赦すことができるように、と祈ります。

144. 第六の願いは何ですか。

「我らを試みに会わせず、悪より救い出したまえ」です。

145. 第六の願いでは、何を求めて祈りますか。

神さまが、わたしたちを罪から守って下さるように、と祈ります。

暗唱聖句：「だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」（マタイ6：33）

第 19 課

恵みの手段

146. 恵みの手段とはなんですか。

わたしたちがキリストにあって成長するために、神さまがお定めになった手段です。

147. 普通の恵みの手段とは何ですか。

神さまの言葉を読むこと、聞くこと、礼典の執り行うこと、祈りです。

148. 礼典はいくつありますか。

二つあります。

149. 何と何ですか。

洗礼と主の晩餐です。

150. だれがこれらの礼典をお定めになったのですか。

主イエス・キリストです。

151. なぜキリストはこれらの礼典をお定めになったのですか。

キリストの弟子たちと、この世の人たちとを区別し、また弟子たちをなぐさめ力づけるためです。

暗唱聖句：「イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。『わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。』（マタイ28：18－20）

第 20 課

洗 礼 (バプテスマ)

152. 洗礼では、どんなしるしが用いられますか。

水で洗うしるしです。

153. 水で洗うことはどのようなことをあらわしていますか。

わたしたちが、キリストの血によって罪から清められたことをあらわしています。

154. わたしたちは、だれの名によって洗礼を受けますか。

父と子と聖霊の名によってです。

155. だれが洗礼を受けるのですか。

信者と、その子供たちです。

156. なぜ信者の子供たちは洗礼を受けるべきなのですか。

契約の約束が彼らのものでもあるからです。

157. キリストは小さい子供たちを愛しておられますか。

はい。キリストはこうおっしゃっています。「子どもたちを許してやりなさい。邪魔をしないでわたしのところに来させなさい。天の御国はこのような者たちの国なのです。」(マタイ19:14)

158. 洗礼を受けると、どのようなことが求められますか。

本当にキリストに従う者となることです。

159. 洗礼を受けた子供たちは、クリスチャンなのですか。

はい。でも、心から悔い改め、キリストを信じる者だけが救われます。

暗唱聖句：「なぜなら、この約束は、あなたがたと、その子供たち、ならびにすべての遠くに
いる人々、すなわち、私たちの神である主がお召しになる人々に与えられて
いるからです。」（使徒2：39）

第 21 課

主の晩餐

160. 主の晩餐とは何ですか。

キリストの苦しみと死とを覚えて、パンを食べ、ぶどう酒を飲むことです。

161. パンは何をあらわしますか。

わたしたちの罪のためにさかれた、キリストの体をあらわします。

162. ぶどう酒は何をあらわしますか。

わたしたちの救いのために流された、キリストの血をあらわします。

163. 主の晩餐にあずかれるのはだれですか。

罪を悔い改め、救いのためにキリストを信じ、同じ信仰の仲間を愛する人たちだけです。

164. どのように主の晩餐をいただくべきですか。

心に主イエス・キリストへの信仰と愛を持っていただくべきです。

165. 主の晩餐をふさわしくいただく者たちには、どのような益を受けますか。

霊的な養いと恵みによる成長です。

166. 主の晩餐をふさわしくないままでいただくものは、何を受けますか。

神さまの裁きです。

暗唱聖句：「ですから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、主が来られる
まで、主の死を告げ知らせるのです。」（第一コリント11：26）

第 22 課

終末(最後)のこと

167. キリストは十字架にかけられた後、墓の中にずっとおられましたか。

いいえ。キリストは死なれてから三日目に、墓からよみがえられました。

168. キリストは、今どこにおられますか。

天におられます。そこでわたしたちのために、とりなしてくださっています。

169. キリストは、また来られますか？

はい。終わりの日にキリストはこの世を裁くために来られます。

170. 人は死ぬと、どうなるのでしょうか。

体はちりにかえり、魂は霊の世界に行きます。

171. 死人の体は、再び生き返るのでしょうか。

はい。「ラッパが鳴ると、…死者はよみがえります」

(第Iコリント15：52)

172. 裁きの日に、悪人はどうなるのでしょうか。

地獄に投げ込まれます。

173. 地獄とは、どんなところですか。

恐ろしい、終わりのない苦しみと罰の場所です。

174. 義人は、どうなるのでしょうか。

天国に迎えられます。

175. 天国とは、どんなところですか。

栄光に満ちた、幸せなところです。そして義人はそこで永遠に主と共にいます。

暗唱聖句：「終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。」

(第一コリント15：52)

第 23 課

宗教改革の歴史 1

1. 宗教改革とは何ですか。

宗教改革とは、ローマカトリック教会の間違った教えから、聖書のみの真理に立ち返るための変化です。

2. ジョン・ウィクリフとはだれですか。

ジョン・ウィクリフは、聖書を英語に翻訳しました。

3. ヤン・フスとはだれですか。

ヤン・フスは、聖書の素晴らしい真理を、自分の国ボヘミアで教えました。

4. ヨハネス・グーテンベルクとはだれですか。

ヨハネス・グーテンベルクは、活版印刷を発明したドイツ人です。

5. マルティン・ルターとはだれですか。

マルティン・ルターは、人は信仰によってのみ救われることを教えて、ドイツで宗教改革を始めました。

6. フルドリッヒ・ツヴィングリとはだれですか。

フルドリッヒ・ツヴィングリは、スイスのチューリッヒに宗教改革をもたらした人です。

暗唱聖句：「こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のようにわたしたちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまとわりつく罪とを捨てて、私の前に置かれている競争を忍耐をもって走り続けようではありませんか。」（ヘブル12：1）

第 24 課

宗教改革の歴史 2

7. ウィリアム・ファレルとはだれですか。

ウィリアム・ファレルは、燃えるような説教で、スイスのジュネーブに宗教改革をもたらした人です。

8. ジャン・カルヴァンとはだれですか。

ジャン・カルヴァンはその教えによって、教理と礼拝において、宗教改革をよりよいものに、またより確実なものにしたフランス人牧師です。

9. ジョン・ノックスとはだれですか。

ジョン・ノックスは宗教改革をスコットランドにもたらすのを手伝ったスコットランド人牧師で、長老派の創始者です。

10. ウェストminster会議とはなんですか。

わたしたちが今も用いている信仰告白と教理問答を書くために、約360年前にロンドンのウェストminster寺院に集まった信仰深い人々の会議です。

暗唱聖句：「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。」（ヘブル12：2）

第 25 課

カルヴィニズムの五特質

1. カルヴィニズムの五特質とは何ですか。

わたしたちの救いについて、ジョン・カルヴァンが聖書から教えたことを要約したものです。

2. カルヴィニズムの第一の特質は何ですか。

全的墮落、すなわち、人間はすること、考えること、言うことにおいて、その性質が罪深いので、自分自身を救うことができない、ということです。

3. カルヴィニズムの第二の特質は何ですか。

無条件的選び、すなわち、選ばれた者は、彼らのうちに何らかの善があるからではなく、神さまのご好意によって選ばれる、ということです。

4. カルヴィニズムの第三の特質は何ですか。

限定的贖罪、すなわち、キリストは、神さまに選ばれた者だけを救うために苦しまれ、死なれた、ということです。

5. カルヴィニズムの第四の特質は何ですか。

不可抗的恩恵、すなわち神さまに選ばれた者は、聖霊様が彼らのうちに信仰を働かせてくださるので、間違いなく救われる、ということです。

6. カルヴィニズムの第五の特質は何ですか。

聖徒の堅忍、すなわち、真のクリスチャンは、クリスチャンでなくなることは絶対にない、ということです。

暗唱聖句： 「『キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世に来られた。』ということばは、まことであり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。」（第一テモテ1：15）